

近 畿 地 方 整 備 局
資 料 配 布

発表日時	平成14年 7月14日 14時
------	--------------------

件 名	平成15年度の社会実験実施地域について 全国で16地域の社会実験に着手
-----	--

概 要	国土交通省による社会実験は、道路交通問題の解決が期待される先進的な施策について、効果や影響の確認を行うため、場所と期間を限定して、地域の方々に試行的に施策を体験して頂きながら評価を行い、本格的に導入するか否かの判断するもので、新しい施策の導入に向け社会実験を推進しています。 平成15年度は ・「くらしのみちゾーン」（歩行者・自転車優先施策） ・「トランジットモール」（歩行者・自転車優先施策） ・「NPO等との協働による道活用」 を重点実施テーマに、全国で11地域のほか、それぞれの地域の課題解決に向け実施する5地域の社会実験を含め全国で合計16地域の社会実験の支援に着手します。そのうち近畿地方では「くらしのみちゾーン」をテーマに大阪府枚方市の「歴史街道 あるいてにぎわう枚方宿社会実験」1地域の社会実験に着手します。 （国土交通省道路局社会実験ホームページアドレス http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.htm）
-----	--

取 り 扱 い	テレビ・ラジオ : _____ 新 聞 : _____
---------	---

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
---------	----------------------------------

問い合わせ先	道路部 道路計画第二課 課長補佐 西海 俊幸 （内線4252） 地域道路課 課長補佐 杉江 功 （内線4612） 電話：06-6942-1141（代表）
--------	---

平成15年度 社会実験実施地域の検討経緯について

平成15年度社会実験の実施地域の検討経緯は下表のとおりであり、「社会実験の推進に関する懇談会（座長：東京商船大学 高橋洋二教授）」および「歩行者自転車優先施策アドバイザー会議（座長：東京商船大学 高橋洋二教授）」を開催し実験内容等についてご意見をいただきました。

平成15年度 社会実験実施地域の検討経緯

従来の社会実験		くらしのみちづくり・トランジットモールの社会実験	
2月28日	公募要領公表	昨年12月	公募要領公表、公募開始
4月1日	公募開始		
4月25日	公募締め切り	5月16日	公募締め切り
6月4日	社会実験の推進に関する懇談会開催	6月25日	歩行者自転車優先施策アドバイザー会議
7月14日	プレスリリース	7月14日	プレスリリース

平成15年度は、主に3つのテーマ（「くらしのみちゾーン」、「トランジットモール」、「地域主体の道の活用」）に該当する社会実験について、次の考え方により実施地域及びその内容を検討しました。

1. 新規性、先進性
取り組みに新規性・先進性が認められるか。
2. 施策の有効性、展開性
実験する施策が当該地域において有効であるか、また他の地域へ展開性があるか。
3. 関係機関との合意形成、調整状況
実験実施へ向けた住民、企業との合意形成や、実験に関わる諸団体の協力・準備体制が整っているか。
4. 実験計画の熟度
実験内容・実験実施期間・実験規模は実験結果の評価に関して必要十分であるか。また実験を評価するための各種調査計画などが十分に練られているか。

社会実験の実施件数

H11				H12				H13				H14				H15			
応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数	応募件数	実施件数
近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿	近畿
14	2	6	1	25	6	9	1	34	4	14	3	36	9	14	2	39	5	16	1

注：「くらしのみちゾーン」、「トランジットモール」、「NPO等との協働による道活用」の3テーマに該当する社会実験については、今後、追加実施を行う予定です

くらしのみちゾーン

【施策の概要】

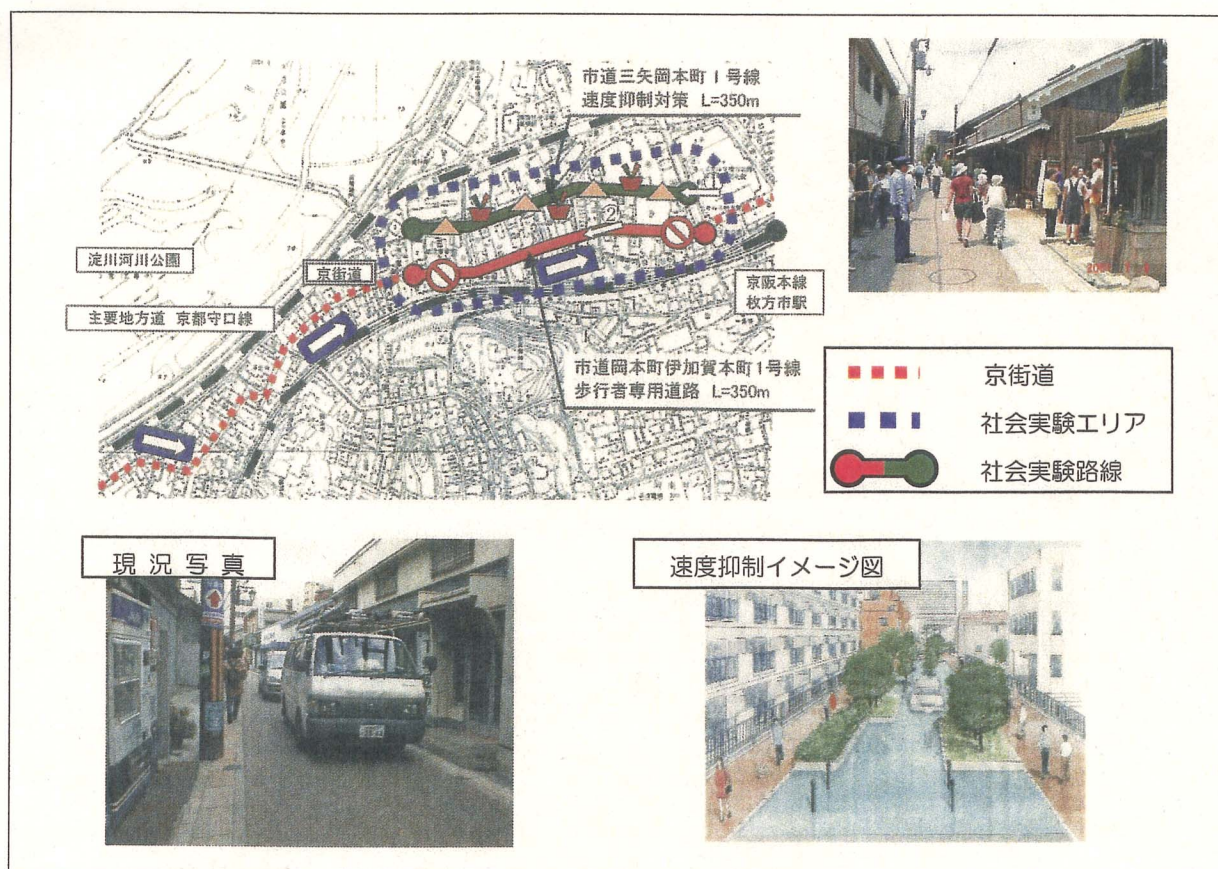
外周を幹線道路に囲まれている等のまとまりのある住区や中心市街地の街区などにおいて、一般車両の地区内への流入を制限して身近な道路を歩行者・自転車優先とし、併せて無電柱化や緑化等の環境整備を行って、交通安全の確保と生活環境の質の向上を図ろうとする取り組みです。

具体的には、ゾーンの入口・出口に速度規制標識を設置したり、クランク、ハンプ等により車の速度低減を図ることにより、身近な道路において車より歩行者・自動車を優先し、安全な交通環境を形成します。さらに、たまりスペースの確保や無電柱化、沿道緑化、バリアフリー化を進め、快適な生活環境を形成します。

【代表事例】

○大阪府枚方市（歴史街道 歩いてにぎわう枚方宿社会実験）

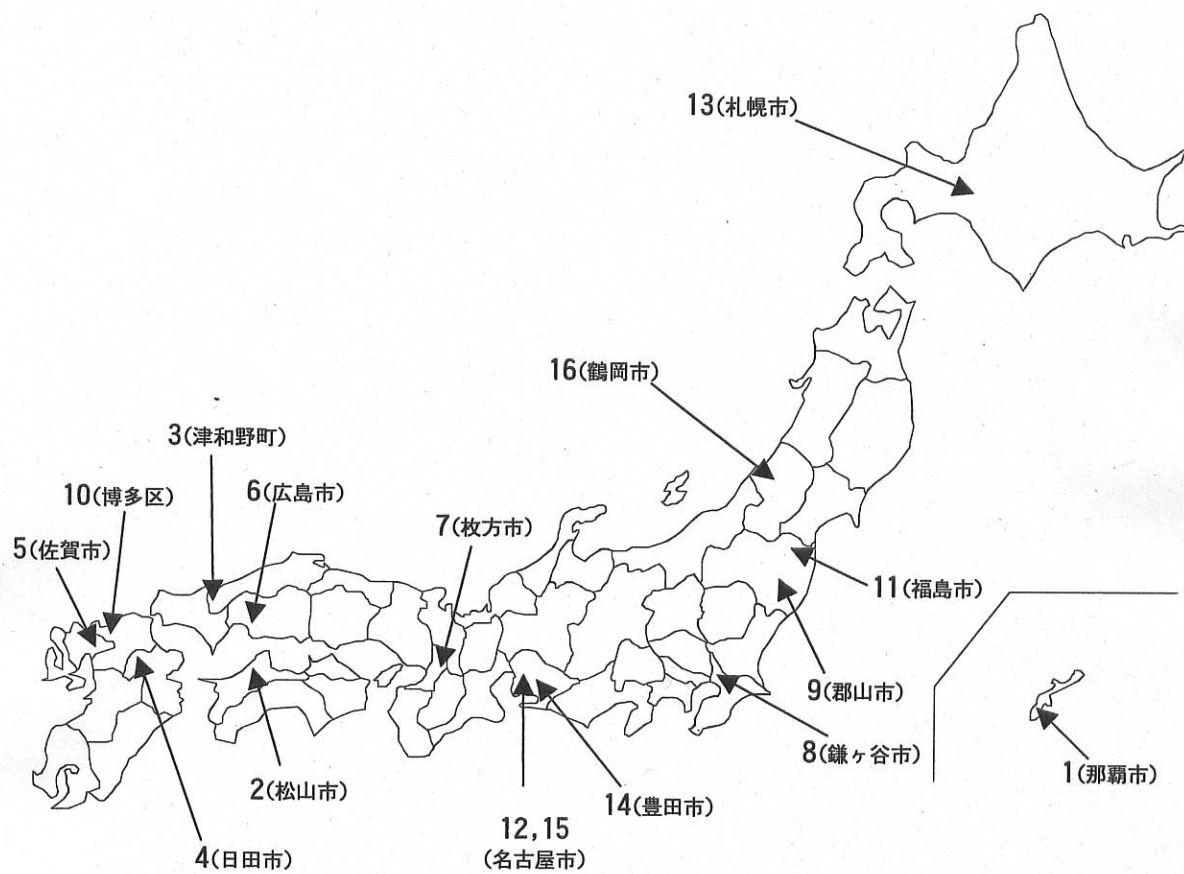
旧東海道の宿場として栄えた市道を対象として、通過交通の抑制、賑わいの創出を図るため、ハンプ設置などによる速度抑制対策の実施や、歩行者専用道路化による街頭パレードなどの各種イベントの実施がこの地域の活性化に有効かどうか検証します。



平成 15 年度 社会実験実施地域の実施地域一覧

No.	テーマ分類	実施地域	実験名称
1	歩行者・自転車優先施策 (トランジットモール)	沖縄県 那覇市	那覇市国際通りトランジットマイル社会実験
2	歩行者・自転車優先施策 (トランジットモール)	愛媛県 松山市	～ロープウェイ通り～ 歩いて楽しいモール実験
3	歩行者・自転車優先施策 (トランジットモール)	島根県 津和野町	津和野人と環境に優しいまちづくり交通社会実験
4	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	大分県 日田市	天領日田、歩いて時間(とき)を感じるまちづくり 社会実験
5	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	佐賀県 佐賀市	日新地区交通環境改善プログラム ー通学路の安全性ー
6	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	広島県 広島市	都心商業地区における歩行者と自動車、自転車の 共存化に関する実験
7	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	大阪府 枚方市	「歴史街道 あるいてにぎわう枚方宿」社会実験
8	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	千葉県 鎌ヶ谷市	歩行者に安全なまちづくり導入実験
9	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	福島県 郡山市	中心商業地における交通情報提供と歩行支援実験
10	NPO 主体の道の利用と管理	福岡県 福岡市 (博多区)	道路空間のコミュニティインフラ化 in 博多
11	NPO 主体の道の利用と管理	福島県 福島市	地下駐車場(既存ストック)を活用した 中心市街地活性化実験
12	物流・駐車対策	愛知県 名古屋市	IT 社会における駐車場情報提供の高度化社会実験
13	物流・駐車対策	北海道 札幌市	「人と環境を重視した都市交通計画」社会実験
14	バス利用の促進	愛知県 豊田市	デマンドシステムと情報提供による玄関バス運行実験
15	バリアフリー	愛知県 名古屋市	円滑な移動環境を提供する歩行者 ITS 社会実験
16	道路管理における地域住民 との協働	山形県 鶴岡市	COOL ROAD提供実験

注) 番号は、次頁の位置に対応



平成 15 年度 社会実験実施地域一覧